

令和5年3月議会

## 生活環境委員会報告資料

○車両不具合に伴う非常ブレーキによるお客様の負傷について

1頁

交 通 局

## 1 事象発生状況

令和5年2月28日午前7時50分頃、七隈線の橋本発天神南行き列車が、非常用貫通扉<sup>※1</sup>の異常検知<sup>※2</sup>を受け、金山駅出発直後に乗務員の非常ブレーキ操作により緊急停車した。

非常ブレーキにより停車した際に、当該列車に揺れが生じ、乗車していたお客様が負傷された。

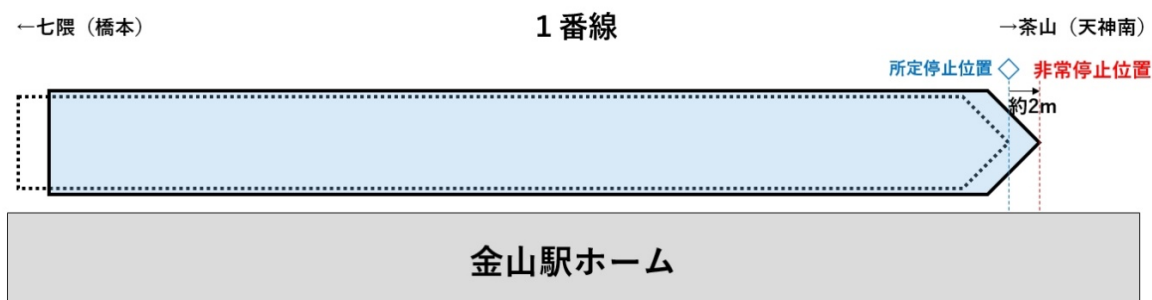
### ※1 非常用貫通扉

両先頭車両に設置した、非常時に乗客の避難誘導に使用する扉。

### ※2 非常用貫通扉の異常検知

非常用貫通扉は、「空気圧によるロック」と「手動によるロック」にて二重にロックしている。今回は「空気圧によるロック」について、空気圧異常が検知された。

### 【発生場所概略図】



## 2 お客様の負傷状況

- ・人数：6名（20代女性1名、30代男性1名、40代女性2名、60代女性2名）
- ・状況：転倒等による腰や首などの痛みの申し出があっている。  
現時点では救急搬送や骨折等の申し出は無い。

## 3 運行への影響

- ・影響本数：6本（5分以上の遅延）※運休無し
- ・最大遅延：12分
- ・影響人員：約1,200人

## 4 異常検知の原因

非常用貫通扉のロックに空気を送る（圧力をかける）ための弁<sup>※3</sup>と弁を制御するダイヤルスイッチの取付位置の影響によって、ダイヤルが固定されず、弁の位置がずれ、空気の供給が遮断され、貫通扉の空気圧の異常が検知されたものと推定されるが、引き続き詳細調査中である。

### ※3 「弁」とは、空気の経路を切替える装置。

押し込まれるとロックに空気が送られる。

## 5 事象発生後の対応

- ・当該列車についての対応

当該列車は、車両工場に引き込み、引き続き詳細調査中である。

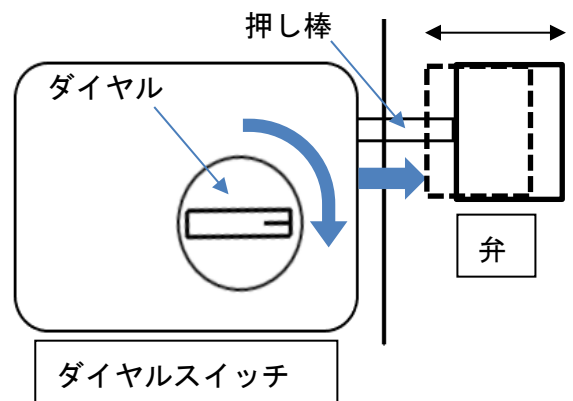
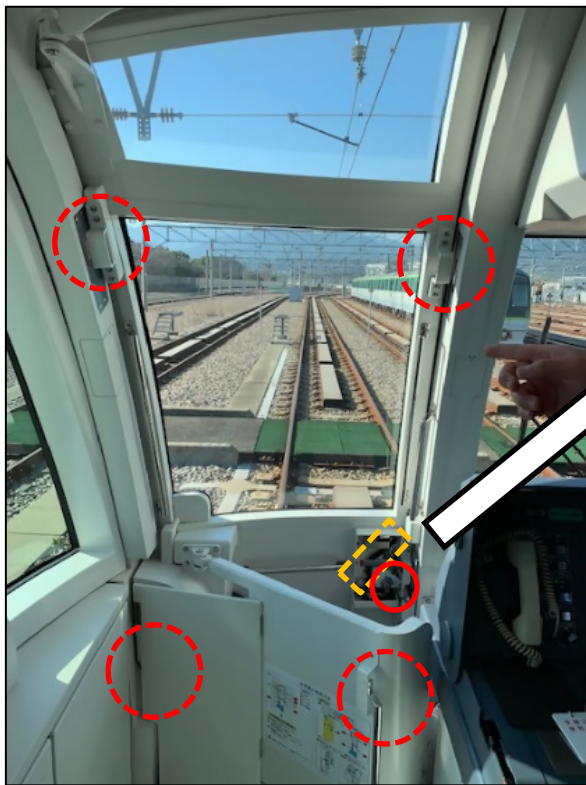
- ・他の列車への対応について

ダイヤルが固定状態になっていることを緊急点検し、異常は確認されなかった。

## 6 今後の対応等

- ・負傷をされたお客様に対して、適切な補償を行うなど誠意をもった対応を行う。
- ・車両不具合の更なる原因究明を行い、再発防止を図る。

### 【非常用貫通扉全景及びロックの仕組み】



○ . . . 「空気圧によるロック」

○ . . . 「ダイヤルスイッチ」

□ . . . 「手動によるロック」

ダイヤルを回すことで押し棒により弁が押し込まれる。